4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版M

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(8) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(10) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(11) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(14) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(16) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(20) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか